2026年11月５日

各　位

会社名　ヒラキ株式会社
代表者名　代表取締役　梅木孝雄
（コード番号:3059 東証スタンダード）
問合せ先　取締役現業支援本部長
髙下幸弘
（TEL 078－967－4601）

剰余金の配当（無配）および配当予想の修正ならびに役員報酬の減額に関するお知らせ

当社は、2026年11月５日開催の取締役会において、2026年９月30日を基準日とする剰余金の配当を行わないこと（中間配当の見送り）、また、2026年５月15日に公表いたしました2027年３月期（2026年４月１日～2027年３月31日）の期末配当予想を修正（無配）すること、併せて、役員報酬の減額について決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

１．中間配当の見送りおよび期末配当予想の修正（無配）について

(1) 理由

当社の利益配分に関する基本方針は、キャッシュ・フローを重視した経営を実践し、内部留保を充実させながら、会社を継続的に発展させることによって、株主の皆様に剰余金の配当を安定的かつ継続的に実施していくこととしております。

しかしながら、当中間期において、営業損失および特別損失（減損損失）を計上した結果、親会社株主に帰属する中間純損失を計上することとなりました。また、本日付で公表いたしました「特別損失（減損損失）の計上、第２四半期（中間期）業績予想と実績との差異および通期業績予想の修正に関するお知らせ」に記載のとおり、通期業績予想における親会社株主に帰属する当期純損益につきましても、当期純損失を計上する見通しとなりました。

これに伴い、今後の事業基盤の再構築および財務体質の健全化を最優先とすべく、誠に遺憾ではございますが、当期の配当（中間配当および期末配当予想）につきましては見送らせていただくことといたしました。

日頃より当社をご支援いただいている株主の皆様の期待にお応えできず、ご迷惑とご心配をおかけしますことを、深くお詫び申し上げます。

(2) 2027年３月期中間配当の内容

	決定額	直近の配当予想 （2026年５月15日公表）	前期実績 （2026年３月期中間）
基準日	2026年９月30日	2026年９月30日	2025年９月30日
１株当たり配当金	０円00銭	10円00銭	10円00銭
配当金の総額	―	―	48,674,070円
効力発生日	―	―	2025年12月３日
配当原資	―	―	利益剰余金

(3) 2027年３月期末配当予想の修正内容

	年間配当金		
	第２四半期末	期　末	合　計
前　回　予　想 (2026年5月15日公表)	10円00銭	10円00銭	20円00銭
今回修正予想		0円00銭	0円00銭
当　期　実　績	0円00銭		
前　期　実　績 (2026年３月期)	10円00銭	10円00銭	20円00銭

２．役員報酬の減額について

この度の業績結果および無配という判断を、経営陣一同、極めて重く受け止めております。経営責任を明確にし、一刻も早い業績回復に邁進する決意を示すため、役員報酬の減額割合を引き上げ、継続して実施することといたしました。

(1) 役員報酬の減額内容

代表取締役社長執行役員： 月例報酬の 30%減額（従来：20%）
取締役専務執行役員（営業担当）： 月例報酬の 20%減額（従来：15%）
その他取締役（社外役員を除く）： 月例報酬の 15%減額（継続）
執行役員： 月例報酬の 10%減額（継続）

(2) 対象期間

2026年12月～2027年６月（2025年７月からの継続）

３．今後の取り組みと早期復配に向けて

前期から取り組んでまいりましたオリジナル商品の強化策につきましては、ようやくその成果の芽が出つつございます。全社を挙げてトップライン（売上高）の回復に注力するとともに、役員・従業員が一丸となって重点施策にスピード感を持って取り組み、早期の黒字化および復配の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、現在の状況に何卒ご理解をいただき、今後とも変わらぬご指導とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

以　上